



LEDヘッドランプの開発で中部科学技術センター顕彰「大賞」を受賞

株式会社小糸製作所

～夜間の安全走行と地球環境保護の両面に寄与～

当社は、2007年に世界で初めてLEDヘッドランプを実用化し、トヨタ自動車のレクサスLS600hに採用されました。以降、LEDの性能向上や光学技術の進歩、LEDユニットの小型化の開発などにより、高級車から小型車、軽自動車にまで採用が拡大しています。

LEDヘッドランプは、省電力や長寿命であることに加え、点灯速度も速く夜間走行での安全性向上に寄与しています。また、LEDユニットの小型化により、クルマのデザイン自由度も高まります。

このほど、当社の「LEDヘッドランプの開発」が、視認性向上による夜間の安全走行と、CO2削減という地球環境保護の両面に寄与しているとして、第12回(平成25年度)中部科学技術センター顕彰の「大賞」を頂きました。

この中部科学技術センター顕彰は、創造的研究開発への意欲高揚を図り、科学技術水準の向上と中部地域における産業発展・振興に寄与することを目的に平成14年から設けられたもので、中部地域に事業所、研究所等を有する企業の優れた研究者、技術者等を表彰するものです。

今後とも、当社はこの度の受賞を励みに、先進の光を追求するとともに、「人と地球にやさしいものづくり」を目指し、安全・環境に配慮した製品開発に取り組んでまいります。



世界初のLEDヘッドランプを搭載したレクサスLS600h



最新の1灯式LEDヘッドランプを搭載したレクサスIS